



国際ロータリー
第2620地区

御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2656回 例会プログラム

- 例 会 場／東山荘講堂
- 開 会 点 鐘／12：30
- ローターソング／奉仕の理想
- 内 容／国難を乗り越えるためには 若林洋平君

会 員 慶 事

- 結婚記念日／5月28日 若林 洋平君 雅美様 ご夫妻
- 皆 出 席／5月23日 斉藤 衛君(ロータリー歴20年)
5月23日 渋谷 一君(ロータリー歴20年)
5月23日 山崎伊久雄君(ロータリー歴20年)

会 長 挨拶

橋 本 喜 市



おはようございます。今年の早朝例会も恒例となりました、日本野鳥の会御殿場支部の菅常雄様を朝早くからお招きしました。この後、卓話をお願いしております。

昨年、菅様の卓話で御殿場市にはオオタカのテリトリーが3か所あり、その中で神場にある山神社で撮影されたオオタカの写真を見せて頂きました。オオタカは、環境省が定める国内希少野生動物種の指定を解除され、また希少鳥獣についても、レッドリストが見直されたために、指定解除されました。ただ、引き続き保護の必要性が高いために捕獲は原則認められていません。

というオオタカですが、鳩レースをするために、鳩を飼育していたころ、頻りにオオタカや隼に襲われ被害を被っておりました。舎外訓練中やレース中にも襲われて、尾羽が抜けて帰って来る鳩や、爪でひっかけられ傷を負わされたり、目の前で襲われ掴まれて持っていかれたこと等は何度となくありました。また、襲われて家の中に逃げ込んで来たこともあり、その鳥は腰が抜けた状態に

なっていました。それらの鳩は次に外に出しても飛ぶことを嫌がり、レースに出しても帰って来ません。富士宮の鳩仲間の話では、オオタカの巣の下には鳩に付けている脚環がいっぱい落ちていたとか、また、小屋の中まで追いかけて来たこととか、様々な経験談を良く耳にしました。高く飛んでいる時はタカが来ても逃げられるので被害はありませんが、飛び立つ時とか、下りる時を狙って来ます。春に100羽の雛を作っても、レースに出す頃に半分残っていれば良しとするくらい被害は大きいのです。それも年々その傾向が顕著になっているようです。

環境省は、レース鳩を飼育している人向けに「オオタカ被害対応マニュアル」を作成しましたが、外を飛んでいる鳥に注意のしようがありません。しかし、オオタカをはじめとする猛禽類の精悍さはカッコ良く、空を飛ぶ姿は威風堂々としています。たまに空を見上げて見て下さい。オオタカや隼、チョゲンボウなどが飛んでいるのを見ることができます。



5/19の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
55名	49名	42名	85.71%	100%

欠席者 (7名)

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司会・皆出席 出席報告 幹事報告 会員誕生日
久保田勇輝君 中溝敬之君 渋谷 一君 長谷川雅也君



SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

次 回
6月2日の
例 会

★名鉄菜館
★12：30点鐘
★クラブビジョン策定
根上真一君

野鳥卓話と探鳥会

日本野鳥の会

菅 常 雄 様



本日は野鳥観察をもとにした、御殿場・小山の里山の環境についてお話しします。

まず里山の定義とは「自然と人間が共生でき、そのなかで生き物が生きていくために循環していくという自然の仕組みがあること」と私は考えています。御殿場には竈と中畑、小山には上野と桑木があります。里山らしい原風景はこの4か所で、特に竈の里山はこの定義にぴったりとあてはまります。竈の里山では、地元の方々が里山のために会を作り、保全に取り組んでいます。この竈の里山は、南御殿場駅から一回り約5キロの大きさです。そこでは他の会が水生昆虫、植物といった調査をしており、私達は野鳥の調査をしています。この1年間で、私達の予想以上の63種類の鳥が確認できました。これは環境が良いことの証です。

この63種類の鳥のうち、4月から9月頃まで私達が確認できていない鳥は冬鳥と考えています。里山で繁殖していないということで、北からきて越冬して北に帰る、つまり冬鳥であります。逆に、4月から9月まで確認できている鳥というのは、南から渡ってきて繁殖期に里山にいるため、夏鳥であることが分かります。この夏鳥と冬鳥は、はっきりと違いが分かります。鳥の種類別個体数の確認により、4～8月の繁殖期に里山での個体数が少ないことも分かりました。つまり里山は子育てをする営巣場所ではなく、餌をとるための場所であることが明らかです。竈の里山ではピオトープを作り、メダカや水生昆虫等が多くいるので素晴らしい環境です。これだけの場所はなかなかないものです。

ただし、気になるのは黄瀬川の水質です。調査の結果、水鳥が少ないことが分かりました。特に魚をとる水鳥、カワウ等があまりいないので、魚が少ないことが分かります。箱根川から支流がある場所ではカワセミもあまりいません。カワセミは魚の多い場所にしかいないため、この支流部分は魚が少ないことが考えられます。本来、支流部分にはハヤ等が多くおり、そこにカワセミが集ま

るため、何か水質の問題といった原因があるかもしれません。水草の根を食べて生きる水鳥もいますが、魚を食べる鳥がないことが心配です。私は釣りが好きで渓流釣りによく行きます。石をどけて、川虫の育つ状況を確認しますが、この辺りは水生昆虫もあまりいないので、魚が育たないのだと思います。ハヤが育つような環境になってほしいと願っています。

先日、アマツバメという鳥が確認できて、確認個体数は64種類になりました。これからどのような環境の変化が起きていくか、水質が変わることで生き物にどう影響がでるか、この先また調査していきます。竈の里山は地元の方がとても力を入れて管理し活動しているのが素晴らしいです。御殿場ではここだけです。ドローンで上空から植物の調査もしており、貴重な植物も見ついています。水質が良くなれば、生き物が育つのもっと良い環境になると思います。皆さんに、このような素晴らしい環境があることを知って頂くとともに、御殿場・小山において今の環境をぜひ守っていきたいです。



御殿場ロータリー親睦ゴルフ開催

5月19日早朝例会後、太平洋クラブ御殿場ウエストにて久々の親睦ゴルフを行いました。ベテランから若手まで総勢15名の参加者は、最高の天気の中、爽快なゴルフで親睦を深めました。



★2022年6月 御殿場RC例会プログラム★

月 日	時 間	会 場	内 容	担当者及び卓話者
6/2 (2657回)	12:30	名鉄菜館	クラブビジョン策定	根上眞一君
6/9 (2658回)	12:30	東山荘講堂	クラブ創立55周年記念例会 「米山梅吉・はる夫妻とつながる若き日の思い出」	朝日小学校 お話の会
6/16 (2659回)	12:30	名鉄菜館	一泊例会を変更して「会員親睦例会」	親睦活動委員会
6/23 (2660回)	12:30	東山荘記念館	第3回クラブ協議会	全 員
6/30 (2661回)	12:30	東山荘記念館	一年を顧みて	会長・幹事・SAA

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長 ○ 橋本 喜市
幹 事 ○ 渋谷 一
会報委員長 ○ 長島 和彦